

岡山-香港線 冬期利用促進事業に係る業務企画提案内容仕様書

1 業務名

岡山-香港線 冬期利用促進事業

2 業務概要及び内容

岡山-香港線 冬期利用促進事業に係る業務委託仕様書のとおり

3 企画提案

岡山-香港線の冬期利用促進を図ることを目的に、業務委託仕様書の内容を盛り込んだ1つの企画としてまとめて提案すること。

(1) 岡山-香港線のインバウンド利用促進の取組の企画提案・実施

- ・岡山-香港線の冬期利用の促進（冬期搭乗率の向上）を図ることに主眼を置いた企画提案とすること
- ・訪日香港人観光客の特性を踏まえた企画提案とすること
- ・岡山ならではの内容をリサーチし、工夫を凝らした企画を提案すること
- ・岡山桃太郎空港を活用した企画提案とすること
- ・現地のマスメディアやインターネット・SNS等での露出を図るための工夫を盛り込み、話題性を意識した企画を提案すること

(2) その他の冬期利用促進の取組の企画提案・実施

- ・上記以外に、岡山-香港線の冬期利用の促進を図ることができる取組があれば提案すること
- ・上記(1)以外の取組を提案する場合は(1)との組み合わせによって効果が期待できる理由、(1)のみ提案する場合は(1)の実施が最も効果が上がると考える理由を記載すること

(3) 事業の目標設定、事業の効果・実績の把握、分析等の業務

- ・岡山-香港線の利用実績（搭乗率）を踏まえた目標を設定すること
- ・事業目標に対して、その達成を図るための取組を明確に盛り込むこと

4 提出書類

- (1) 提案書（様式第3号）（1部）

- ・本仕様書の「7 提案書等の評価基準」に沿って、企画提案のアピールポイントを別記様式に記載すること（A4で1枚以内）
- (2) 企画提案書（様式は定めないが原則A4縦(横書き)左綴りとする）（5部）
- ・企画提案全体の概要、趣旨、コンセプト等を記載すること
 - ・独自性のあるアイデアや工夫を盛り込むこと
 - ・絵コンテや写真等を活用し、分かりやすく表現した資料をもって提案すること
 - ・企画内容だけでなく、スケジュールや効果等も併せて提案すること
- (3) 国又は地方公共団体が実施した事業における、同種の業務（訪日観光客誘致等に係る業務）の実績に係る資料（過去5年以内の代表的なもの）（5部）
- 企画運営した実績や映像等の主な制作実績についてその企画内容や成果物等が分かる資料を添付すること
- (4) 見積書（様式任意）
- 積算根拠が明確になるよう、内訳は、岡山-香港線 冬期利用促進事業に係る業務委託仕様書「6 委託業務」の「(1)～(4)」の区分ごとにできる限り具体的に記載すること。また、本業務に係る責任者、担当者等の人件費、渡航費、現地での活動費のほか、通信運搬費、事務経費その他必要と見込まれる経費は全て計上すること
- (5) 業務の実施体制に関する資料等（5部）
- 業務の実施体制に関する資料（様式任意）として、本業務の責任者及び各業務の責任者、担当者を記載した体制図を作成すること。また、責任者、担当者等について、その所属、氏名、実務経験、本業務における役割等を併せて記載すること。なお、再委託先がある場合は、再委託先についても同様とする。
- 併せて、企業等の概要（様式任意）を提出すること。（既存のパンフレット等でも可。）
なお、再委託先がある場合は、再委託先企業の概要も添付すること

5 採用者の決定方法

- (1) 審査会に先立ち、事務局は経費見積書の価格に対する評価について事前に評価する。
- (2) 審査員は、企画提案書及び提案者によるプレゼンテーションをもとに提案内容に対する評価を行い、事務局が集計する。
- (3) 集計結果をもとに全審査員による協議を行って最優秀者を選定し、最優秀提案者以外の者についても順位付けを行う。なお、当該得点について、同点の提案者が複数となった場合は、審査員の協議により順位を決定することとする。

6 留意事項

提案にあたっては、実現可能性のある提案とすること。

ただし、必ずしも提案の内容を実施するとは限らない。実施にあたっては、空路会と協議を行い、決定していくものとする。

7 提案書等の評価基準

項目	着眼点	評点
① 業務内容の理解度	業務内容について十分に理解すること。 ・業務の目的や狙いをよく理解し、それを踏まえた提案となっているか。	15点
② 提案内容の優良性	提案内容に具体性、妥当性、実現可能性を伴い、優れていること。 ・話題性を高めるための手法が盛り込まれており、具体的で実現可能性があるか。	20点
③ 提案内容の独創性	独自の発想に基づく提案内容が含まれていること。 ・提案には、独自性のあるアイデアや工夫が十分に盛り込まれているか。	20点
④ 業務遂行の安定性	実施体制、実施スケジュール等の業務環境が、委託業務を安定的に遂行できるものであること。 ・委託業務の実施体制、手順、人員配置計画等の体制が十分かつ信頼性が高く、安定した業務の遂行を期待できるか。	20点
⑤ 専門的知識	業務を遂行するために必要十分な専門的知識を有すること。 ・本業務と同種の業務の実績はあるか。	15点
⑥ 必要経費	業務内容に見合った適切な経費であること。 ・経費見積書の内容は妥当であるか。	10点
総得点		100点